

# 第48回 杉並区区民意向調査

## 区政に関する意識と実態

### (要約版)

この小冊子は、平成28年5月に実施しました「第48回杉並区区民意向調査」の結果のあらましです。ご協力いただきました区民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

詳細につきましては、区政資料室、区立図書館、地域区民センターに備え付けの調査報告書をご覧ください。

平成28年10月

杉並区 総務部 区政相談課

#### 【調査のあらまし】

- ・調査対象 満18歳以上の区民
- ・対象者 1,400人
- ・調査方法 郵送留置・訪問回収法
- ・回収数(回収率) 1,062人 (75.9%)
- ・調査時期 平成28年5月

#### 【小冊子の見方】

- ・nはその設問の回答者数を表しています。
- ・回答結果は件数を基数とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合は合計が100%を超える場合があります。

#### 【調査項目】

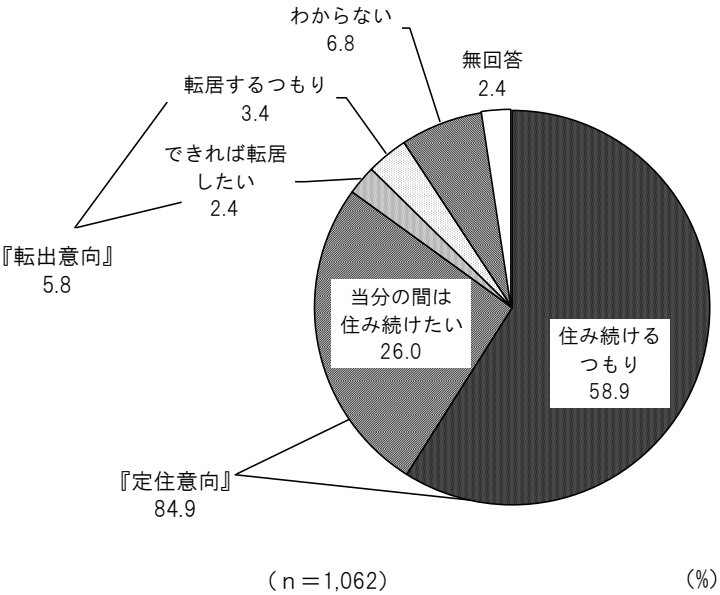
1. 定住性と生活環境について
2. 健康と医療、社会参加活動状況について
3. 地域防災について
4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について
5. 区の情報について
6. 子育て支援に関する意向について
7. 商店街について
8. 高齢者在宅支援について
9. 環境に配慮した行動について
10. 運動・スポーツについて
11. 狭あい道路拡幅整備について
12. 区立図書館の利用について
13. 期日前投票について
14. その他の区政について

# 1. 定住性と生活環境について

## 定住意向

『定住意向』が8割半ば

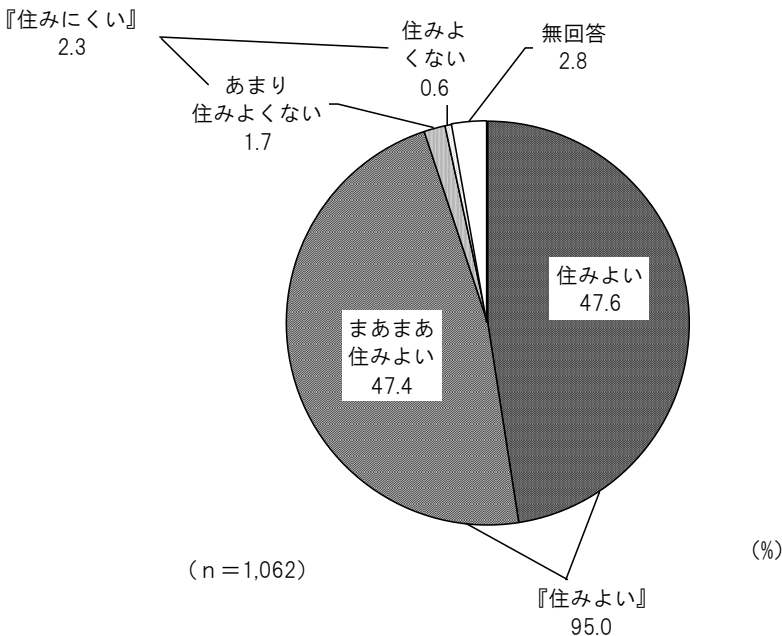
◆ 定住意向を聞いたところ、「住み続けるつもり」(58.9%)が6割近くと最も高く、これに「当分の間は住み続けたい」(26.0%)を合わせた『定住意向』(84.9%)は8割半ばとなっている。一方、「できれば転居したい」(2.4%)と「転居するつもり」(3.4%)を合わせた『転出意向』(5.8%)は1割未満となっています。



## 住みやすさ

『住みよい』が9割半ば

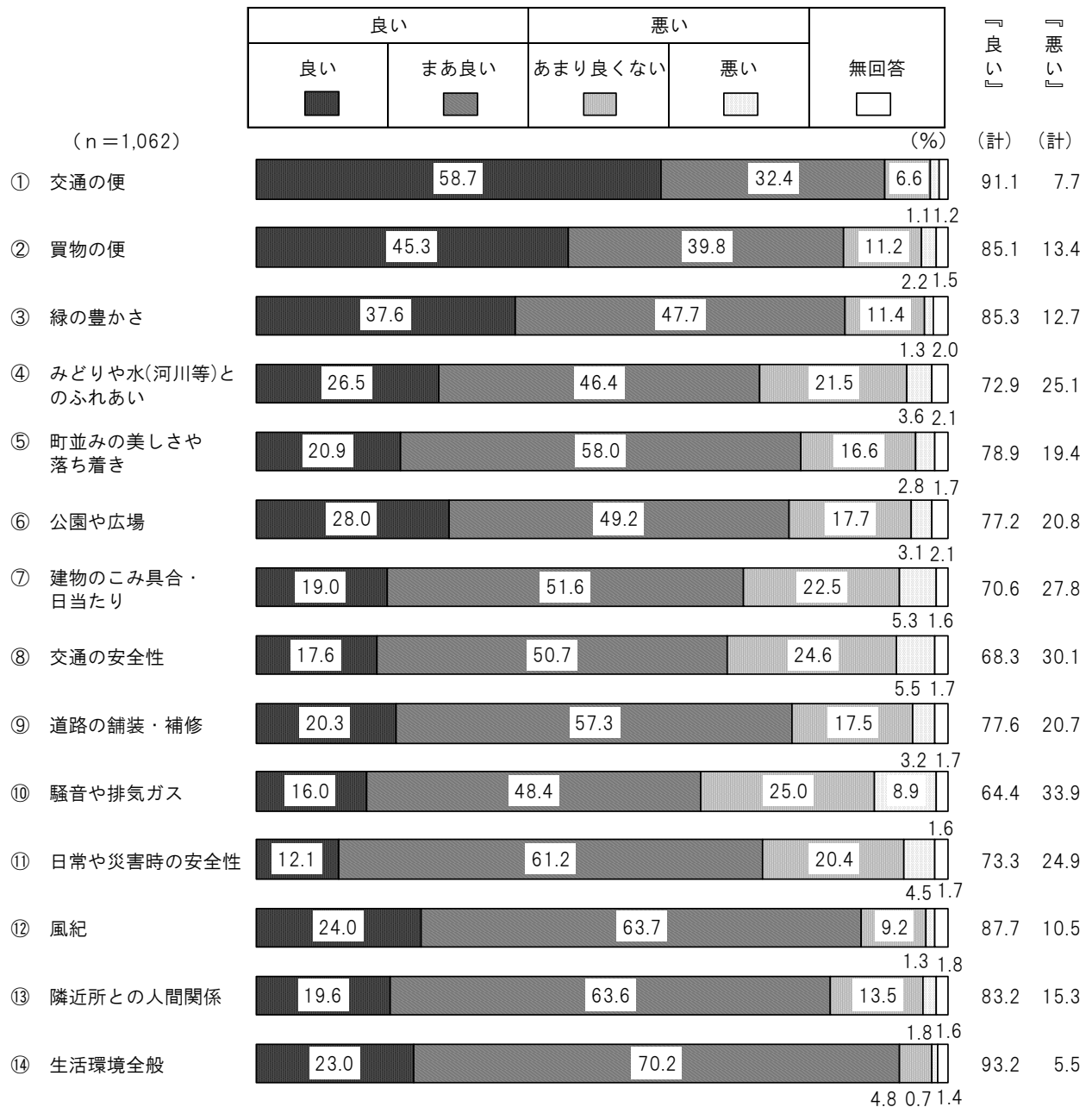
◆ 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思うか聞いたところ、「住みよい」(47.6%)と「まあまあ住みよい」(47.4%)を合わせた『住みよい』(95.0%)は9割半ばとなっている。一方、「あまり住みよくない」(1.7%)と「住みよくない」(0.6%)を合わせた『住みにくい』(2.3%)はわずかとなっています。



## 生活環境の評価

### <生活環境全般>の『良い』が9割を超えて高評価

- ◆ 自宅周辺の生活環境について聞いたところ、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い』は【生活環境全般】(93.2%)が9割を超えて最も高く、次いで【交通の便】(91.1%)、【風紀】(87.7%)、【緑の豊かさ】(85.3%)、【買物の便】(85.1%)などの順になっている。一方、「あまり良くない」と「悪い」を合わせた『悪い』は、【騒音や排気ガス】(33.9%)が3割半ばと最も高く、次いで【交通の安全性】(30.1%)、【建物のこみ具合・日当たり】(27.8%)、【みどりや水(河川等)とのふれあい】(25.1%)、【日常や災害時の安全性】(24.9%)などの順になっています。

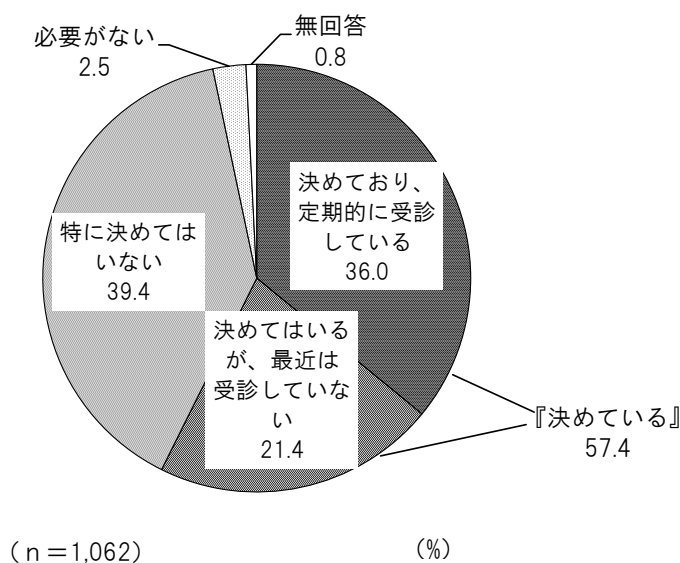


## 2. 健康と医療、社会参加活動状況について

### かかりつけ医の有無

かかりつけの医者『決めている』人が6割近く

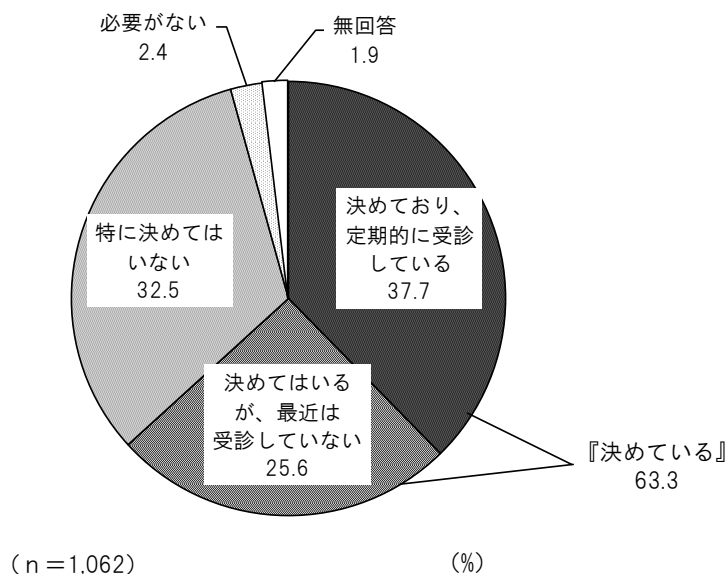
- ◆ かかりつけの医者を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(36.0%)が3割半ば、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(21.4%)を合わせた『決めている』(57.4%)は6割近くとなっている。一方、「特に決めてはいない」(39.4%)は4割近く、「必要がない」(2.5%)はわずかとなっています。



### かかりつけ歯科医の有無

かかりつけの歯科医『決めている』人が6割を超える

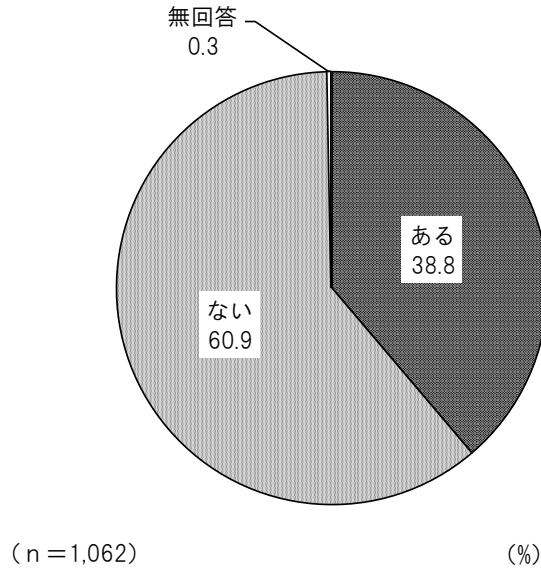
- ◆ かかりつけの歯科医を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(37.7%)が4割近くと最も高く、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(25.6%)を合わせた『決めている』(63.3%)は6割を超えている。一方、「特に決めてはいない」(32.5%)は3割を超え、「必要がない」(2.4%)はわずかとなっています。



## かかりつけ薬局の有無

かかりつけの薬局が「ある」人が4割近く

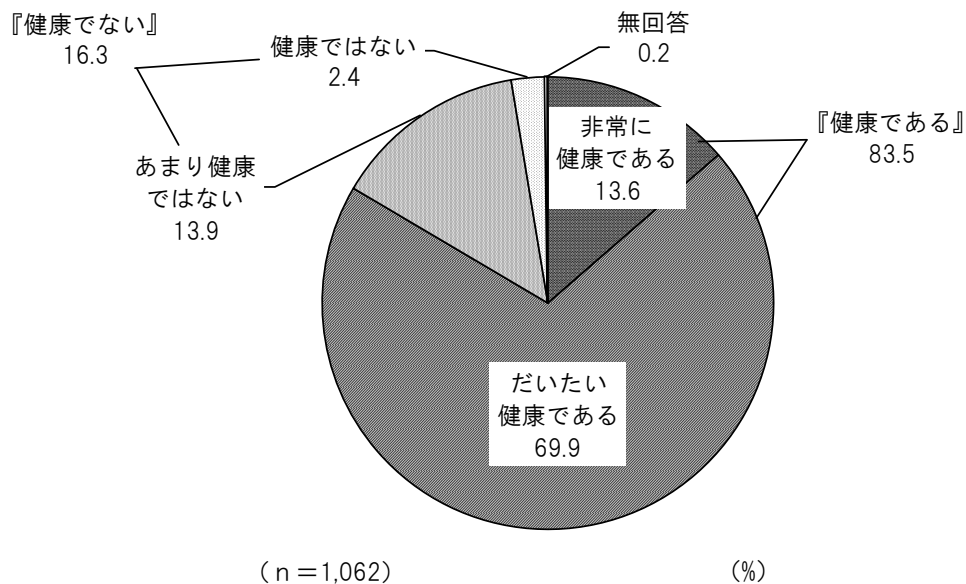
- ◆ かかりつけの薬局を決めているか聞いたところ、かかりつけが「ある」(38.8%)は4割近くとなっている。一方、かかりつけが「ない」(60.9%)が6割を超えています。



## 健康状態

『健康である』が8割を超える

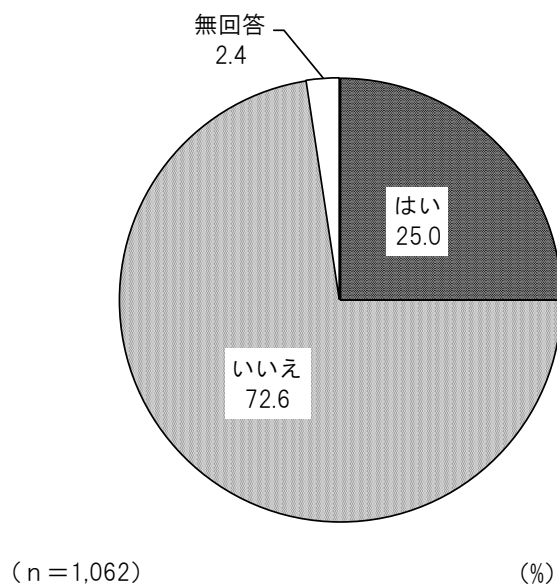
- ◆ 健康状態について聞いたところ、「だいたい健康である」(69.9%)が約7割、これに「非常に健康である」(13.6%)を合わせた『健康である』(83.5%)は8割を超えている。一方、「あまり健康ではない」(13.9%)と「健康ではない」(2.4%)を合わせた『健康でない』(16.3%)は1割半ばとなっています。



## 救急医療体制の不安感

「はい」(不安を感じる)が2割半ば

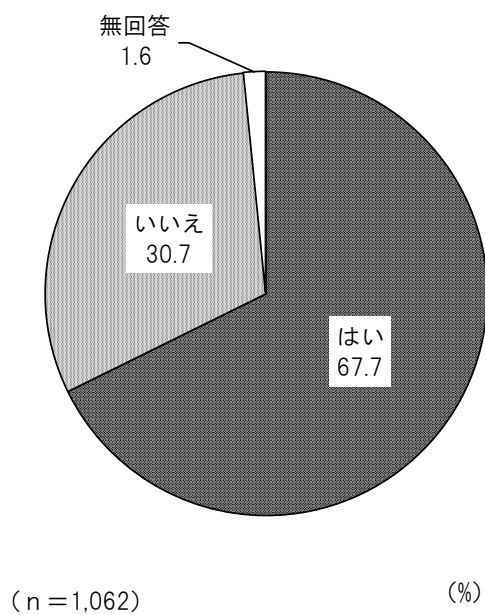
- ◆ 杉並区の休日・夜間の医療体制(救急医療体制)に不安を感じるか聞いたところ、「はい」(25.0%)は2割半ば、「いいえ」(72.6%)は7割を超えています。



## 杉並区のがん検診の認知度

「はい」(杉並区のがん検診を知っている)が7割近く

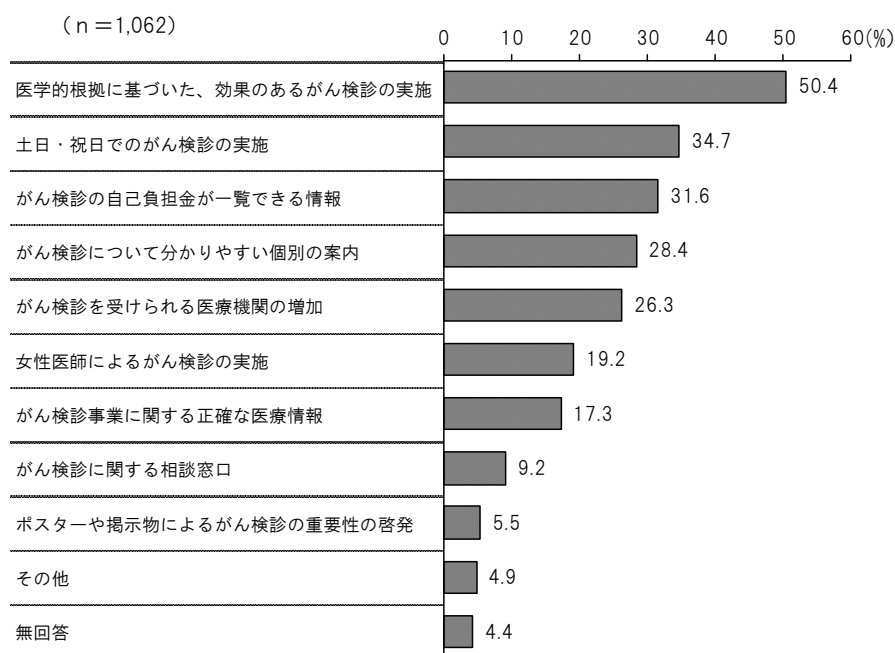
- ◆ 杉並区のがん検診を行っていることを知っているか聞いたところ、「はい」(67.7%)は7割近く、「いいえ」(30.7%)は3割を超えています。



## がん検診事業に求めること

「医学的根拠に基づいた、効果のあるがん検診の実施」が約5割

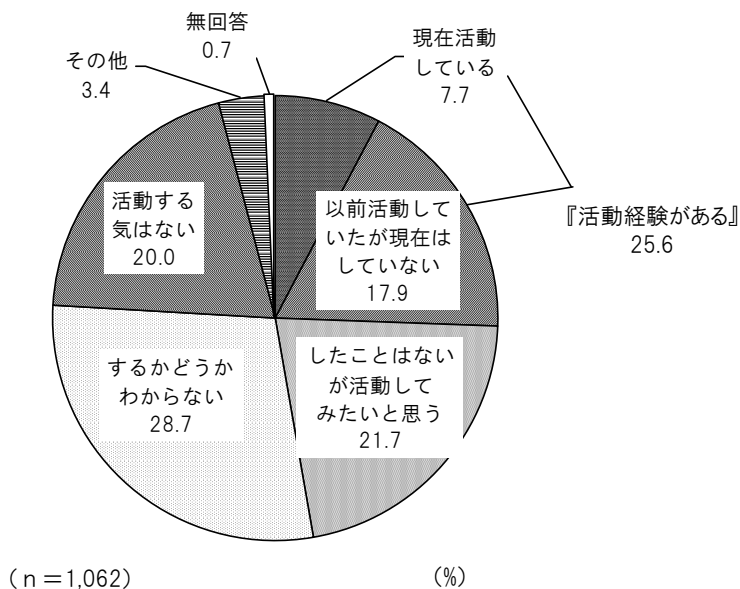
- ◆ 区のがん検診事業に求めることを聞いたところ、「医学的根拠に基づいた、効果のあるがん検診の実施」(50.4%)が約5割と最も高く、次いで「土日・祝日でのがん検診の実施」(34.7%)、「がん検診の自己負担金が一覧できる情報」(31.6%)、「がん検診について分かりやすい個別の案内」(28.4%)、「がん検診を受けられる医療機関の増加」(26.3%)などの順になっています。



## ボランティア活動経験

『活動経験がある』が2割半ば

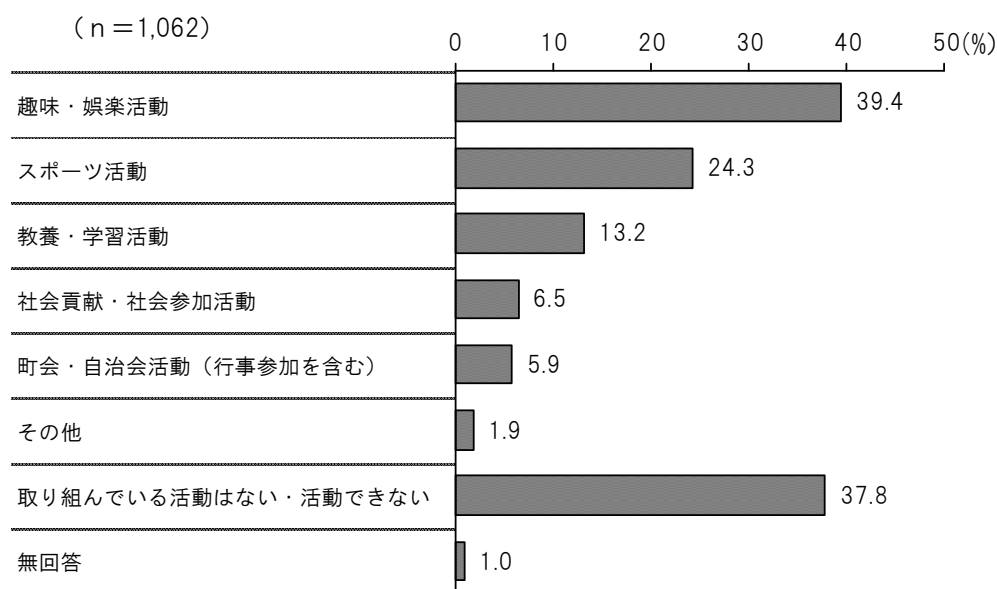
- ◆ ボランティア活動をした経験があるか聞いたところ、「現在活動している」(7.7%)、「以前活動していたが現在はしていない」(17.9%)を合わせた『活動経験がある』(25.6%)は2割半ばとなっている。「したことはないが活動してみたいと思う」(21.7%)は2割を超え、「するかどうかわからない」(28.7%)は3割近く、「活動する気はない」(20.0%)が約2割となっています。



## 社会参加活動状況

「趣味・娯楽活動」が4割近く

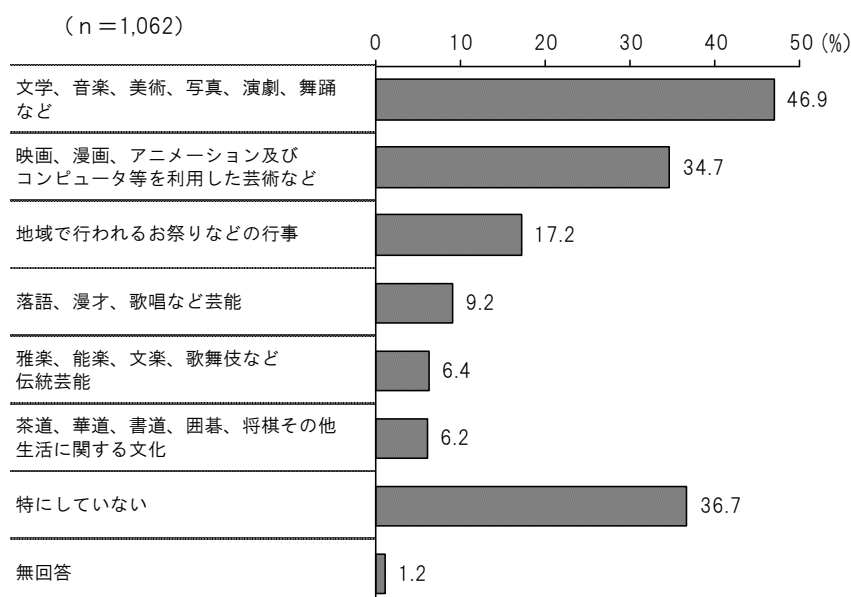
- ◆ 取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動について聞いたところ、「趣味・娯楽活動」(39.4%)が4割近くと最も高く、次いで「スポーツ活動」(24.3%)、「教養・学習活動」(13.2%)、「社会貢献・社会参加活動」(6.5%)、「町会・自治会活動(行事参加を含む)」(5.9%)の順になっている。一方、「取り組んでいる活動はない・活動できない」(37.8%)は4割近くとなっています。



## 文化・芸術活動の有無

「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」が5割近く

- ◆ 文化・芸術活動の有無について聞いたところ、「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」(46.9%)が5割近くと最も高く、次いで「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」(34.7%)、「地域で行われるお祭りなどの行事」(17.2%)「落語、漫才、歌唱など芸能」(9.2%)などの順になっている。一方、「特にしていない」(36.7%)は4割近くとなっています。

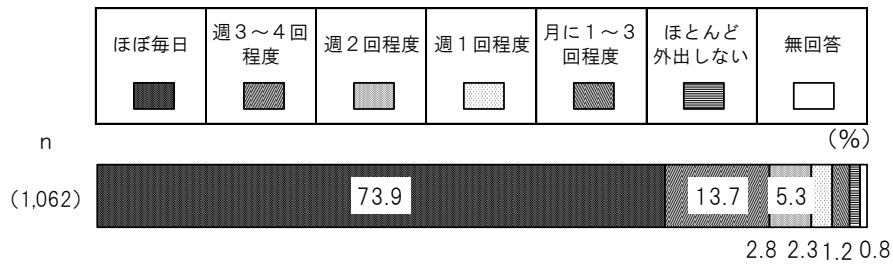




## 外出の頻度

「ほぼ毎日」が7割半ば

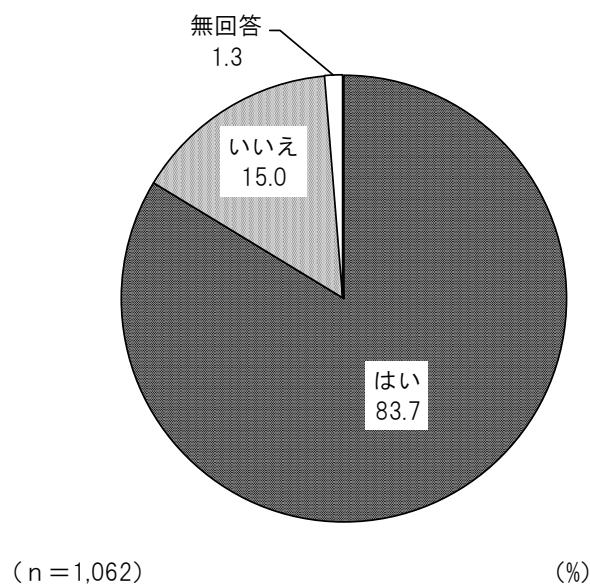
- ◆ 外出の頻度について聞いたところ、「ほぼ毎日」(73.9%)が7割半ばと最も高く、次いで「週3～4回程度」(13.7%)、「週2回程度」(5.3%)となっており、外出頻度が低くなるほど割合も低くなり、「ほとんど外出しない」(1.2%)はわずかとなっています。



## 生きがいの有無

「はい」(感じている)が8割半ば

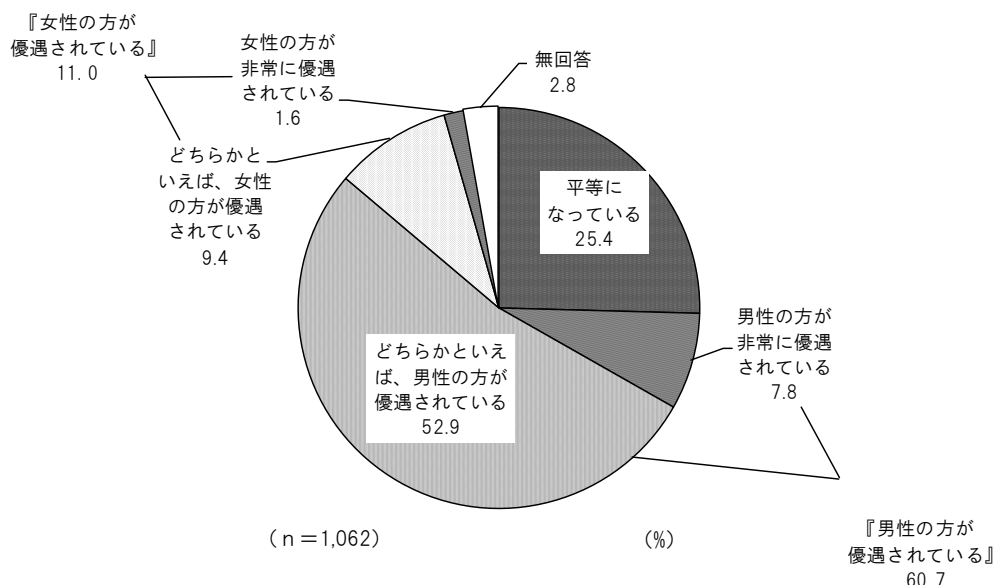
- ◆ 生きがいを感じているかどうか聞いたところ、「はい」(83.7%)は8割半ば、「いいえ」(15.0%)が1割半ばとなっています。



## 社会全体で男女平等になっていると思うか

### 『男性の方が優遇されている』が6割を超える

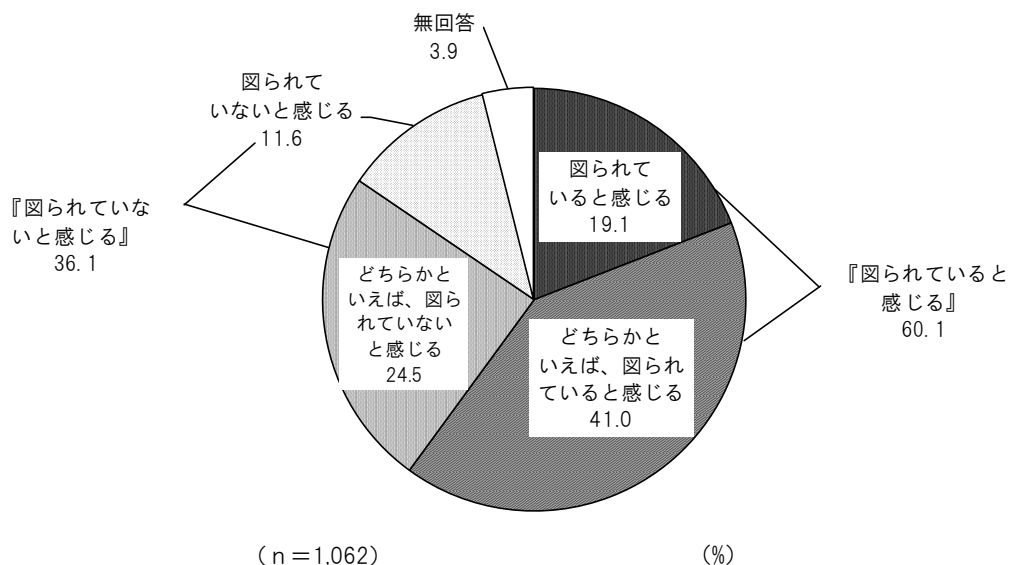
- ◆ 社会全体で男性と女性が平等になっているか聞いたところ、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(52.9%)が5割を超え、これに「男性の方が非常に優遇されている」(7.8%)を合わせた『男性の方が優遇されている』(60.7%)は6割を超えている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(9.4%)と「女性の方が非常に優遇されている」(1.6%)を合わせた『女性の方が優遇されている』(11.0%)は1割を超えている。「平等になっている」(25.4%)は2割半ばとなっています。



## 仕事と生活の調和に対する意識

### 調和が『図られていると感じる』が約6割

- ◆ 仕事と生活の調和が図られているか聞いたところ、「どちらかといえば、図られていると感じる」(41.0%)4割を超え、これに「図られていると感じる」(19.1%)を合わせた『図られていると感じる』(60.1%)は約6割となっている。一方、「どちらかといえば、図られていないと感じる」(24.5%)と「図られていないと感じる」(11.6%)を合わせた『図られていないと感じる』(36.1%)は3割半ばとなっています。

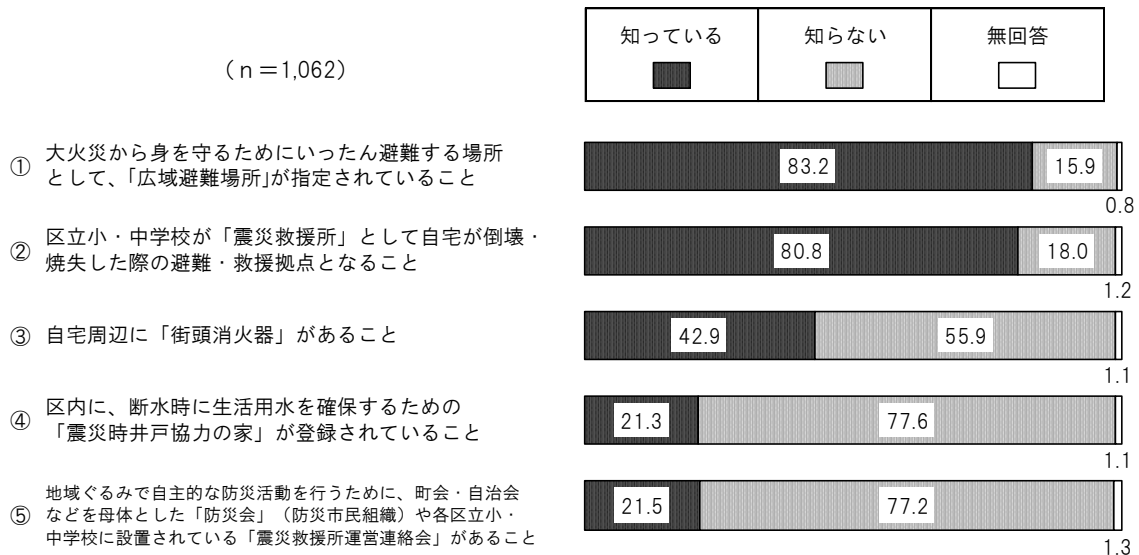


### 3. 地域防災について

#### 震災対策に関する周知度

【広域避難場所】と【震災救援所】を「知っている」人が8割を超える

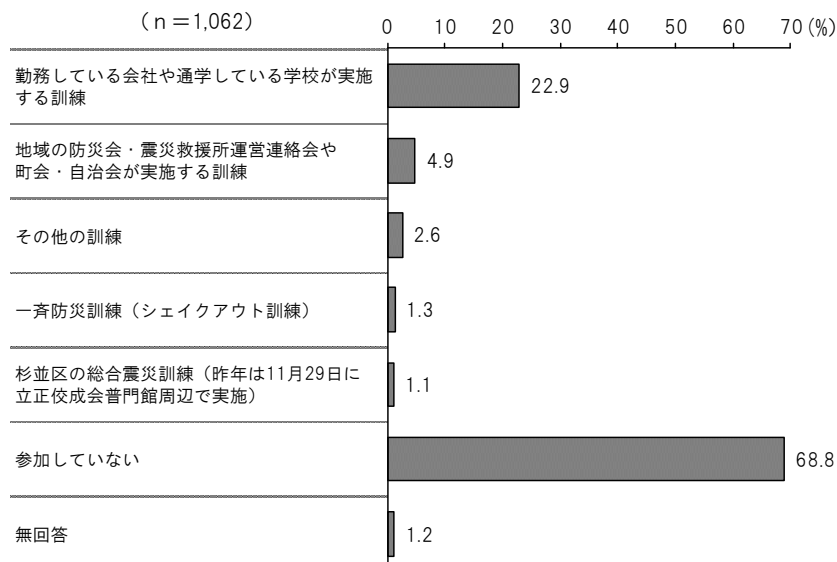
- ◆ 震災対策に関して知っている内容を聞いたところ、「知っている」は【①広域避難場所】(83.2%)と【②震災救援所】(80.8%)で8割を超えて高い割合を占めているが、【③街灯消火器】(42.9%)は4割を超える、【⑤防災会(防災市民組織)・震災救援所運営連絡会】(21.5%)と【④震災時井戸協力の家】(21.3%)は2割を超える程度であり、3項目で過半数を下回っています。



#### 防災訓練の参加状況

「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」が2割を超える

- ◆ この1年の間に参加した防災訓練は何か聞いたところ、「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」(22.9%)が2割を超えて最も高く、次いで「地域の防災会・震災救援所運営連絡会や町会・自治会が実施する訓練」(4.9%)などの順になっている。一方、「参加していない」(68.8%)はほぼ7割となっており、何らかの訓練に参加した人は約3人に1人となっています。

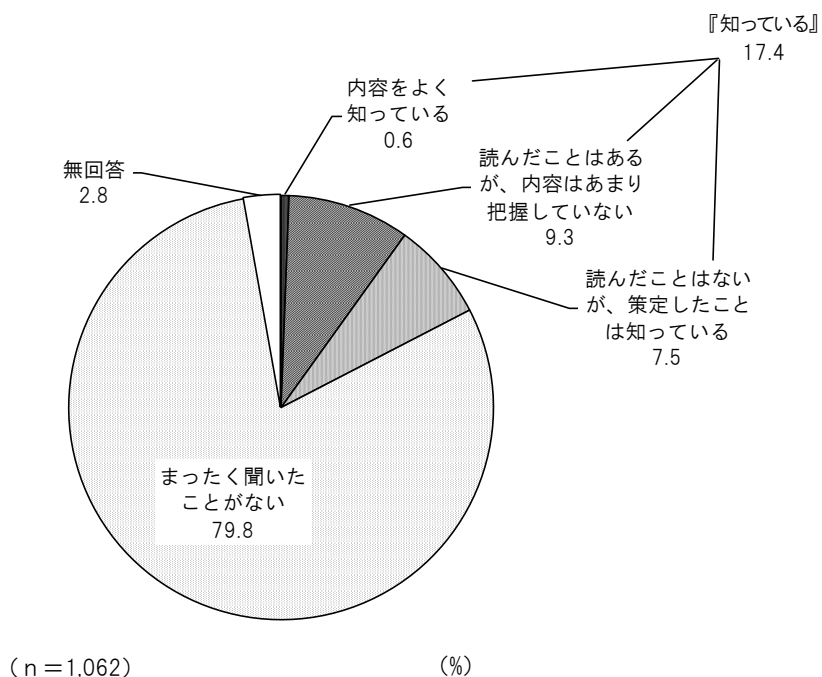


## 4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について

### 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」の認知度

『知っている』人が2割近く

- ◆ 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について知っているか聞いたところ、「まったく聞いたことがない」（79.8%）が約8割となっている。「内容をよく知っている」（0.6%）、「読んだことはあるが、内容はあまり把握していない」（9.3%）、「読んだことはないが、策定したことは知っている」（7.5%）を合わせた『知っている』（17.4%）は2割近くとなっています。

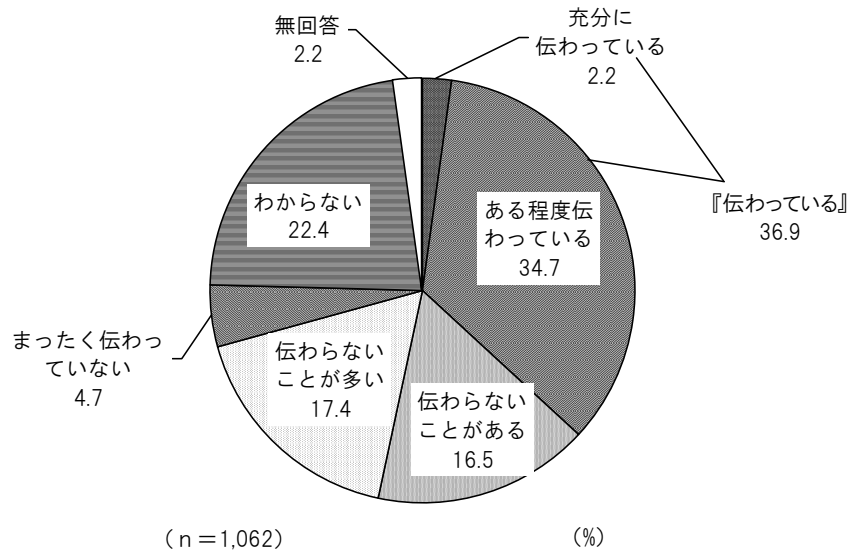


## 5. 区の情報について

### 区情報の伝達度

『伝わっている』が4割近く

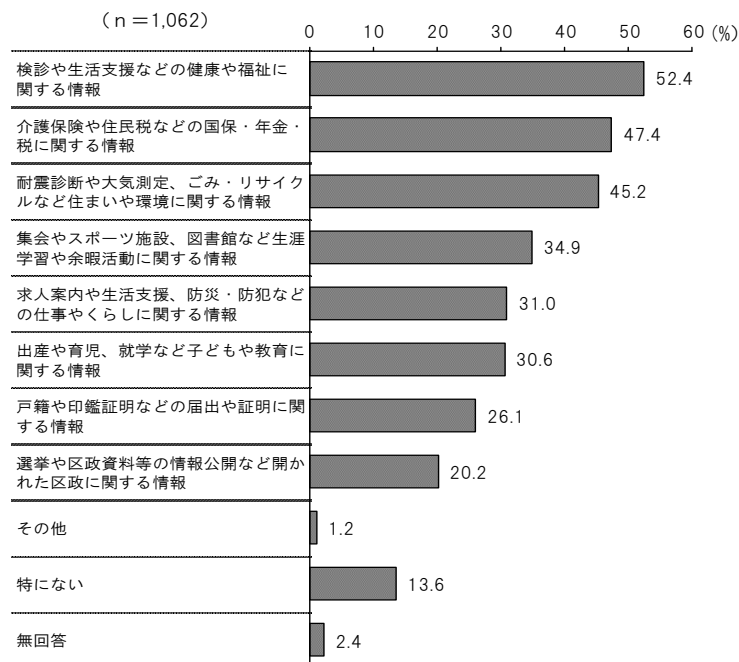
- ◆ 区の情報伝わっているか聞いたところ、「ある程度伝わっている」(34.7%)と「十分に伝わっている」(2.2%)を合わせた『伝わっている』(36.9%)は4割近くとなっている。一方、「伝わらないことがある」(16.5%)と「伝わらないことが多い」(17.4%)が2割近く、「まったく伝わっていない」(4.7%)はわずかとなっています。



### 区が発信する情報で必要なもの

「検診や生活支援などの健康や福祉に関する情報」が5割を超える

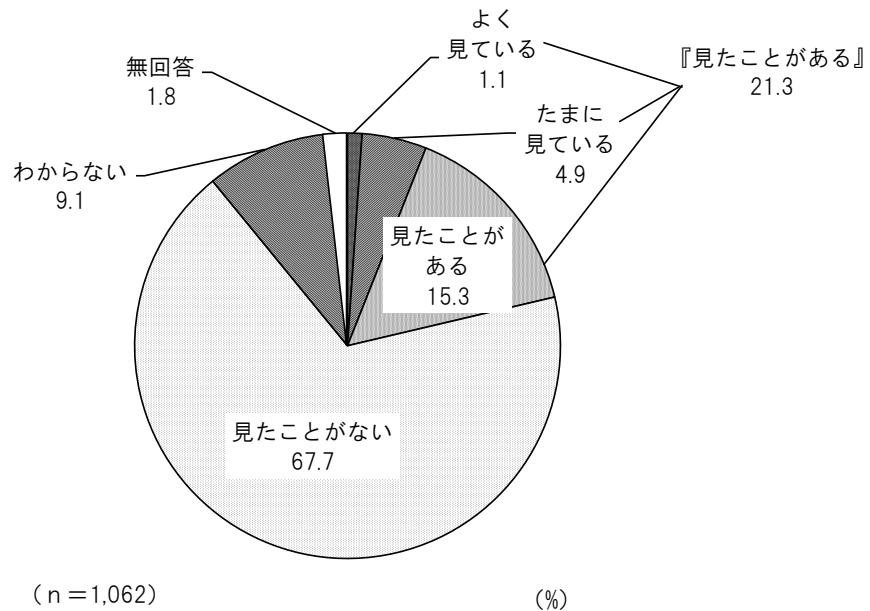
- ◆ 区が発信する情報で必要なものについて聞いたところ、「検診や生活支援などの健康や福祉に関する情報」(52.4%)が5割を超え最も高く、次いで「介護保険や住民税などの国保・年金・税に関する情報」(47.4%)、「耐震診断や大気測定、ごみ・リサイクルなど住まいや環境に関する情報」(45.2%)、「集会やスポーツ施設、図書館など生涯学習や余暇活動に関する情報」(34.9%)などの順になっています。



## 区の広報番組の視聴状況

### 『見たことがある』人が2割を超える

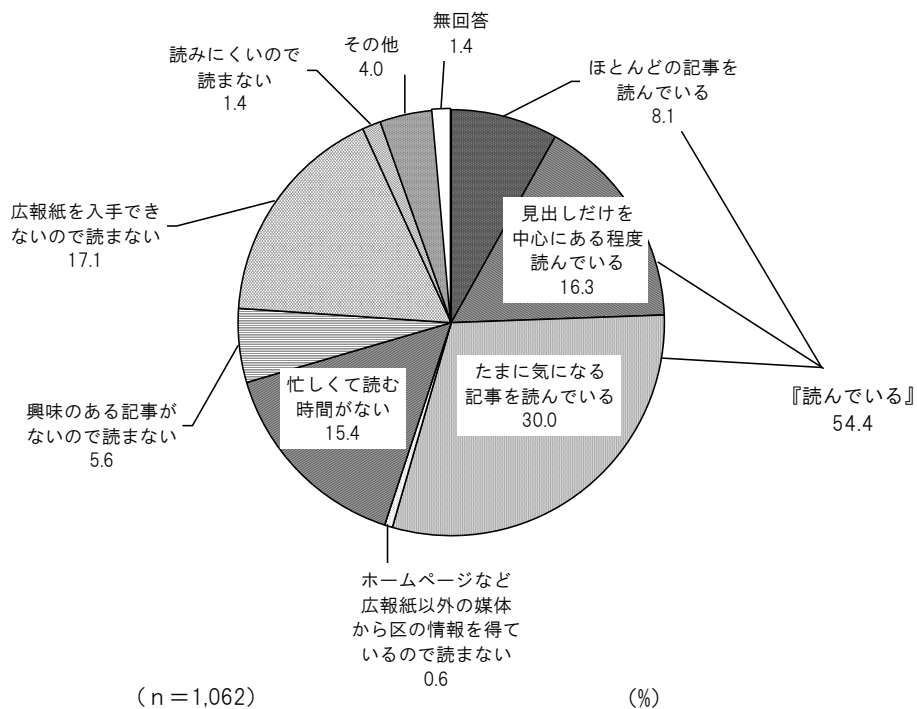
- ◆ 「すぎなみニュース」と「すぎなみニュースまちかどNOW」という広報番組を見たことがあるか聞いたところ、「よく見ている」(1.1%)、「たまに見ている」(4.9%)、「見たことがある」(15.3%)を合わせた『見たことがある』(21.3%)は2割を超えている。一方、「わからない」(9.1%)が1割近く、「見たことがない」(67.7%)は7割近くとなっています。



## 「広報すぎなみ」の閲読状況

### 『読んでいる』人が5割半ば

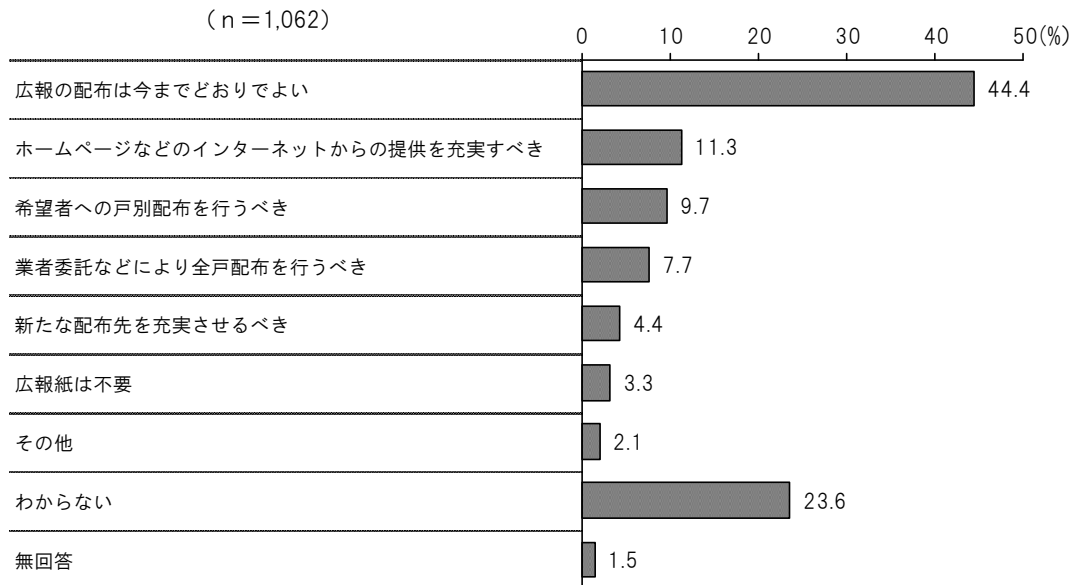
- ◆ 「広報すぎなみ」をどの程度読んでいるか聞いたところ、「たまに気になる記事を読んでいる」(30.0%)が約3割、これに「ほとんどの記事を読んでいる」(8.1%)、「見出しだけを中心にある程度読んでいる」(16.3%)を合わせた『読んでいる』(54.4%)は5割半ばとなっている。一方、「広報紙を入手できないので読まない」(17.1%)は2割近く、「忙しくて読む時間がない」(15.4%)は1割半ばとなっています。



## 「広報すぎなみ」の配布方法

「広報の配布は今までどおりでよい」が4割半ば

- ◆ 「広報すぎなみ」の配布方法について聞いたところ、「広報の配布は今までどおりでよい」(44.4%)が4割半ばと突出している。次いで「ホームページなどのインターネットからの提供を充実すべき」(11.3%)、「希望者への戸別配布を行うべき」(9.7%)、「業者委託などにより全戸配布を行うべき」(7.7%)などの順となっています。

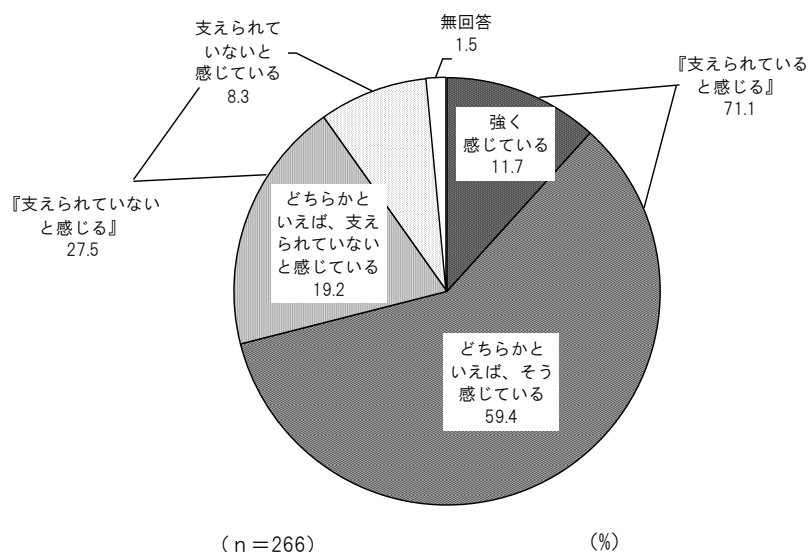


## 6. 子育て支援に関する意向について

### 地域の子育て支援についての意識

地域や社会に『支えられていると感じる』が7割を超える

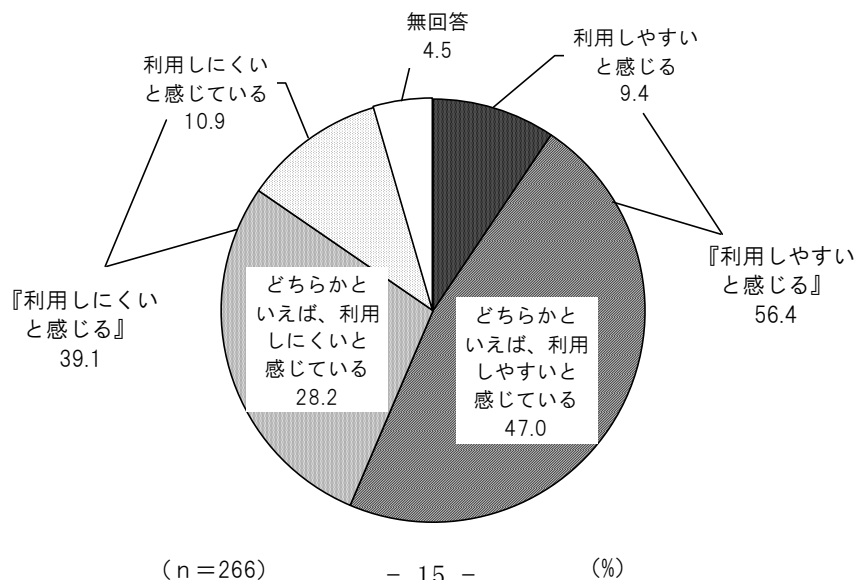
- ◆ 18歳未満の子どもがいると答えた人(266人)に、子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、そう感じている」(59.4%)が6割近く、これに「強く感じている」(11.7%)を合わせた『支えられていると感じる』(71.1%)は7割を超えている。一方、「どちらかといえば、支えられていないと感じている」(19.2%)と「支えられていないと感じている」(8.3%)を合わせた『支えられていないと感じる』(27.5%)は3割近くとなっています。



### 地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ

『利用しやすいと感じる』が5割半ば

- ◆ 18歳未満の子どもがいると答えた人(266人)に、地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、利用しやすいと感じている」(47.0%)が5割近く、これに「利用しやすいと感じる」(9.4%)を合わせた『利用しやすいと感じる』(56.4%)は5割半ばとなっている。一方、「どちらかといえば、利用しにくいと感じている」(28.2%)と「利用しにくいと感じている」(10.9%)を合わせた『利用しにくいと感じる』(39.1%)は4割近くとなっています。



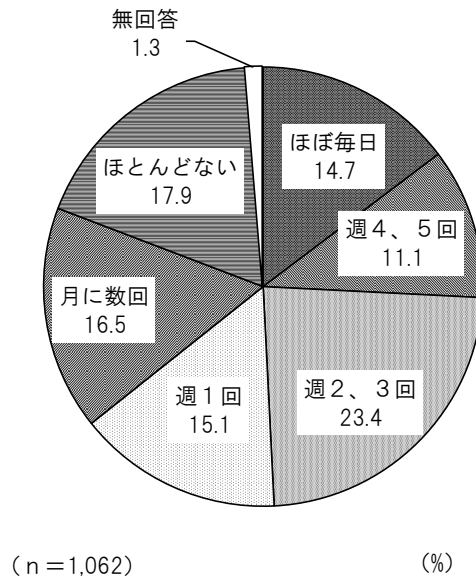


## 7. 商店街について

### 商店街の利用頻度

「週2、3回」が2割を超える

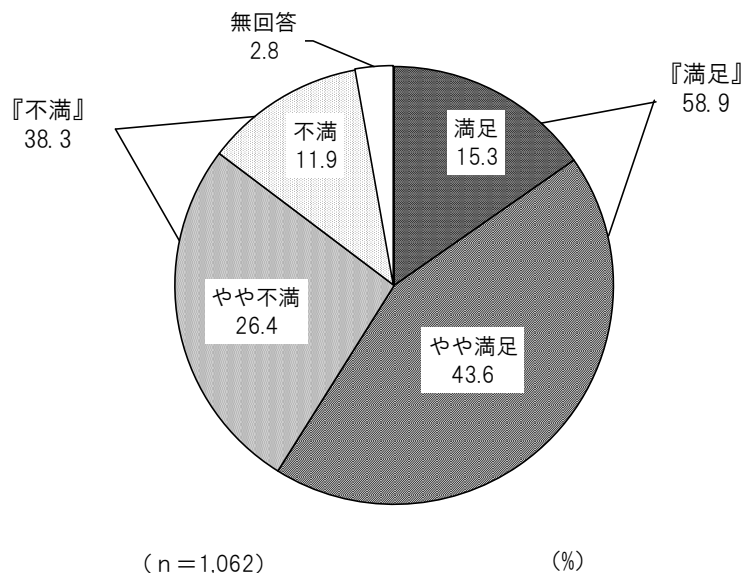
- ◆ 商店街の利用頻度について聞いたところ、「週2、3回」(23.4%)が2割を超えて最も高く、次いで「月に数回」(16.5%)、「週1回」(15.1%)、「ほぼ毎日」(14.7%)、「週4、5回」(11.1%)の順になっている。また、「ほとんどない」(17.9%)は2割近くとなっています。



### 商店街の満足度

『満足』が6割近く

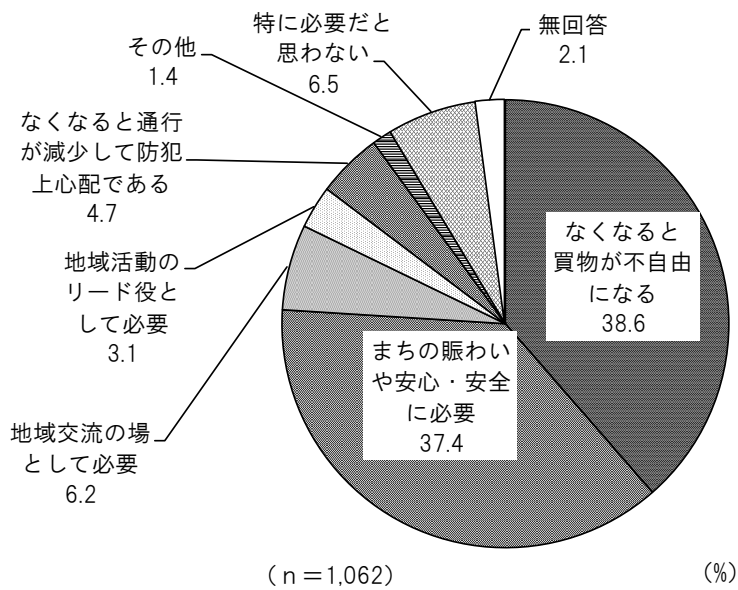
- ◆ 商店街の満足度について聞いたところ、「やや満足」(43.6%)が4割半ば、これに「満足」(15.3%)を合わせた『満足』(58.9%)は6割近くとなっている。一方、「やや不満」(26.4%)と「不満」(11.9%)を合わせた『不満』(38.3%)は4割近くとなっています。



## 商店街が必要な理由

「なくなると買物が不自由になる」と「まちの賑わいや安心・安全に必要」が4割近く

- ◆ 商店街が必要な理由を聞いたところ、「なくなると買い物が不自由になる」(38.6%)と「まちの賑わいや安心・安全に必要」(37.4%)がともに4割近くと、この2項目が特に高くなっている。次いで「地域交流の場として必要」(6.2%)、「なくなると通行が減少して防犯上心配である」(4.7%)の順となっています。

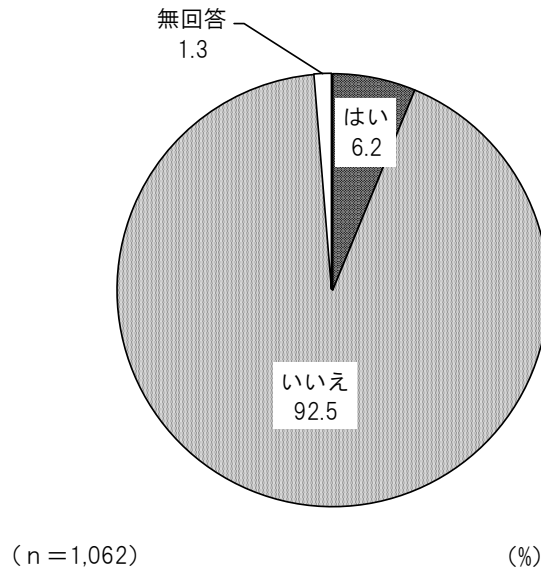


## 8. 高齢者在宅支援について

### 現在の介護状況

「いいえ」（介護をしていない）が9割を超える

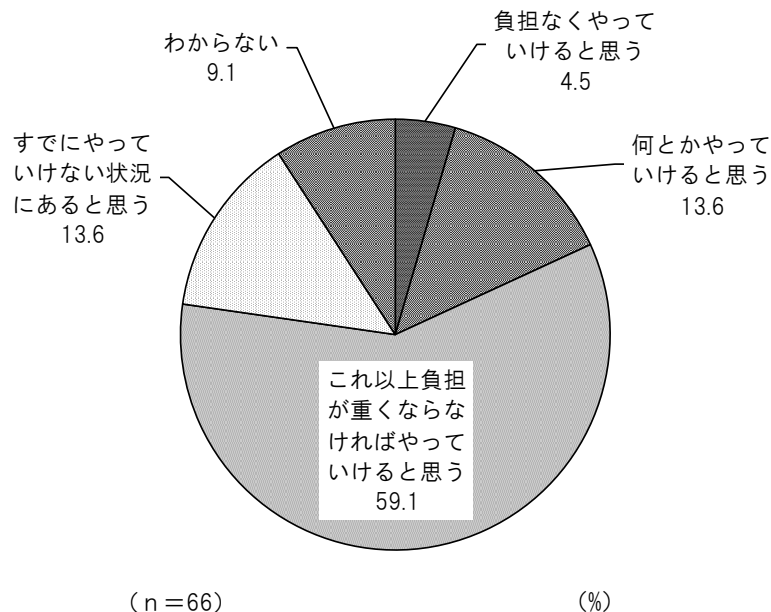
- ◆ 現在、介護をしているか聞いたところ、「いいえ」（92.5%）が9割を超えており、「はい」（6.2%）は1割未満となっています。



### 今後の在宅介護の見通し

「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」が6割近く

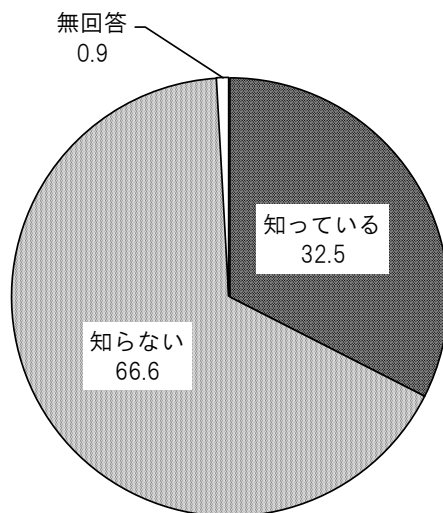
- ◆ 現在の介護状況で「介護をしている」と答えた人（66人）に、今後の在宅介護の見通しを聞いたところ、「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」（59.1%）が6割近くと最も高く、次いで「何とかやっていけると思う」と「すでにやっていけない状況にあると思う」（ともに13.6%）、「負担なくやっていけると思う」（4.5%）の順になっている。また、「わからない」（9.1%）は1割近くとなっています。



## 地域包括支援センター（ケア24）の認知度

「知っている」人が3割を超える

- ◆ 地域包括支援センター（ケア24）を知っているか聞いたところ、「知っている」（32.5%）は3割を超え、「知らない」（66.6%）が7割近くとなっています。



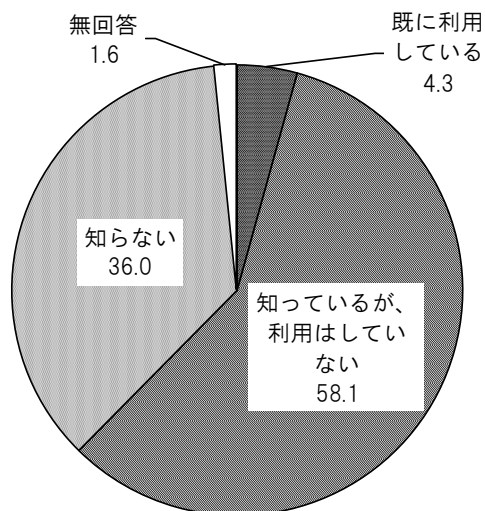
(n=1,062)

(%)

## 訪問診療・訪問看護の認知度

「知っているが、利用はしていない」が6割近く

- ◆ 訪問診療・訪問看護を知っているか聞いたところ、「知っているが、利用はしていない」（58.1%）が6割近く、「既に利用している」（4.3%）はわずかとなっている。一方、「知らない」（36.0%）は3割半ばとなっています。



(n=1,062)

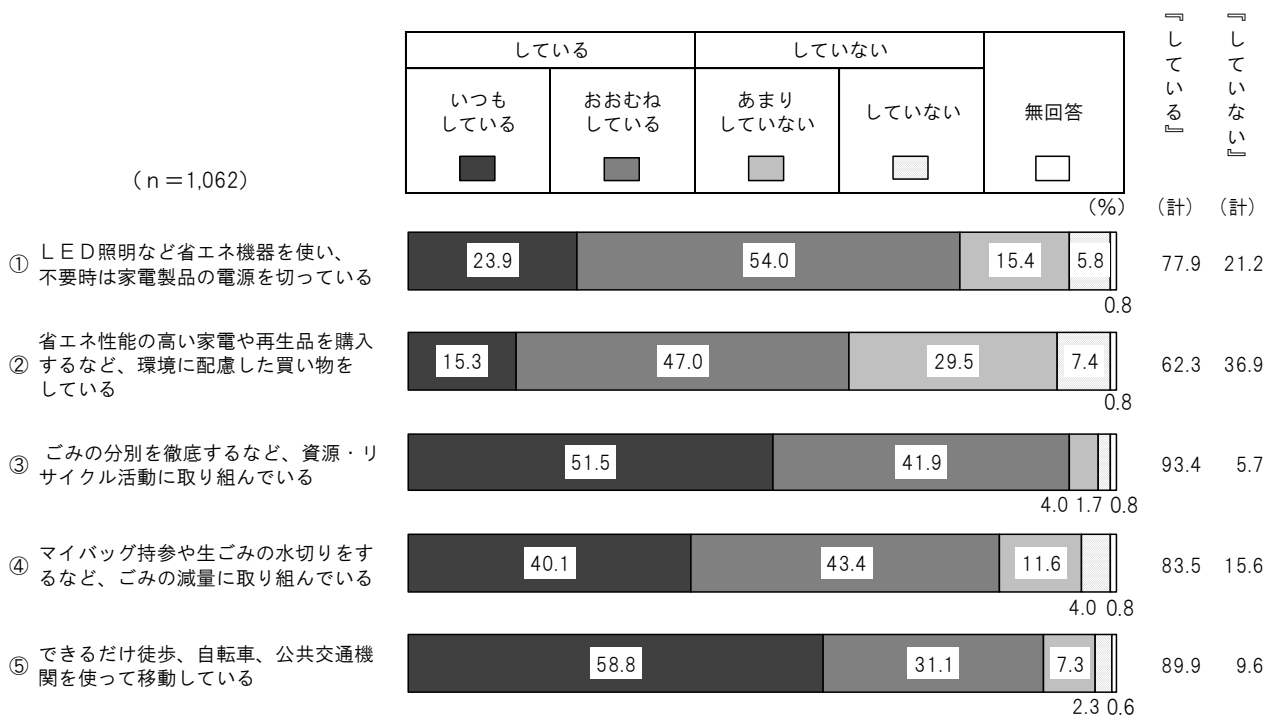
(%)

## 9. 環境に配慮した行動について

### 環境に配慮した行動への取り組み

【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】を『している』人が9割を超える

- ◆ 環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、「いつもしている」と「おおむねしている」を合わせた『している』と答えた人は、【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】（93.4%）が9割を超え、【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】（89.9%）が約9割、【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】（83.5%）で8割半ばとなっている。一方、「あまりしていない」と「していない」を合わせた『していない』と答えた人は、【省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買い物をしている】（36.9%）で4割近く、【LED照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている】（21.2%）で2割を超えています。

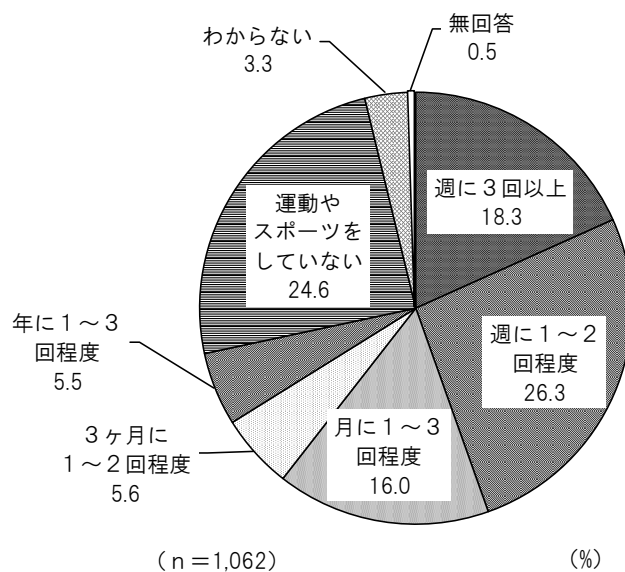


## 10. 運動・スポーツについて

### この1年間の運動やスポーツの実施状況

「週に1～2回程度」が2割半ば

- ◆ この1年間の運動やスポーツの実施状況について聞いたところ、「週1～2回程度」（26.3%）が2割半ばと最も高く、次いで「週に3回以上」（18.3%）、「月に1～3回程度」（16.0%）、「3ヶ月に1～2回程度」（5.6%）、「年に1～3回程度」（5.5%）の順となっている。一方、「運動やスポーツをしていない」（24.6%）は2割半ばとなっています。

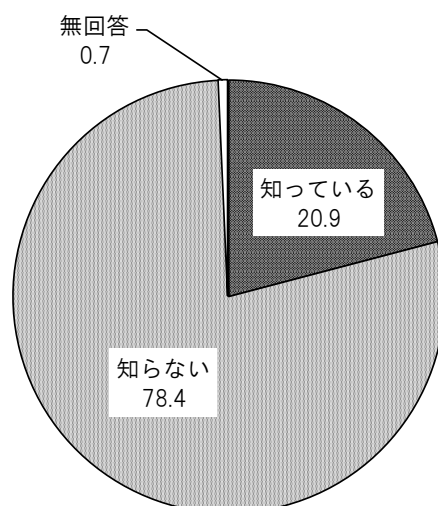


## 11. 狭あい道路拡幅整備について

### 「狭あい道路拡幅整備事業」の認知度

「知っている」人が2割を超える

- ◆ 「狭あい道路拡幅整備事業」を知っているか聞いたところ、「知っている」(20.9%)は2割を超え、「知らない」(78.4%)が8割近くとなっています。



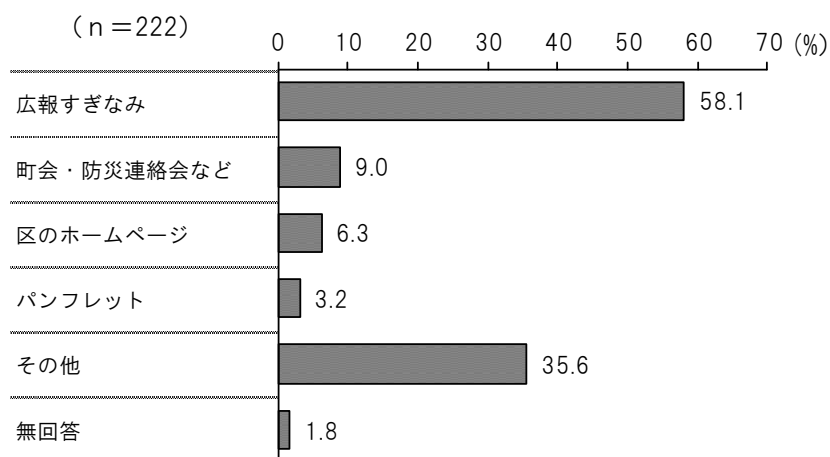
(n=1,062)

(%)

### 「狭あい道路拡幅整備事業」を知ったきっかけ

「広報すぎなみ」が6割近く

- ◆ 「狭あい道路拡幅整備事業」を「知っている」と答えた人(222人)に、知ったきっかけを聞いたところ、「広報すぎなみ」(58.1%)が6割近くと突出して高く、次いで「町会・防災連絡会など」(9.0%)、「区のホームページ」(6.3%)、「パンフレット」(3.2%)などの順になっています。



(n=222)

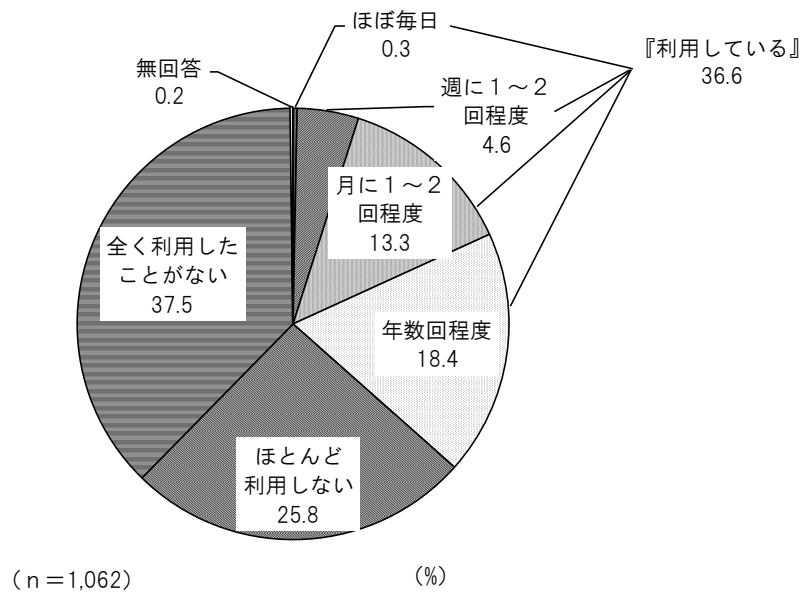
0 10 20 30 40 50 60 70 (%)

## 12. 区立図書館の利用について

### 区立図書館の利用頻度

『利用している』が4割近く

- ◆ 区立図書館の利用頻度について聞いたところ、「年数回程度」（18.4%）、「月に1～2回程度」（13.3%）、「週に1～2回程度」（4.6%）、「ほぼ毎日」（0.3%）を合わせた『利用している』（36.6%）は4割近くとなっている。一方、「全く利用したことがない」（37.5%）が4割近く、「ほとんど利用しない」（25.8%）2割半ばとなっています。



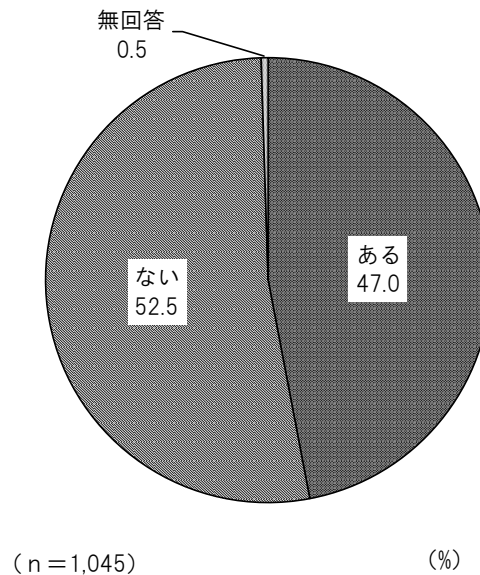


## 13. 期日前投票について

### 期日前投票の利用状況

利用したことが「ある」人が5割近く

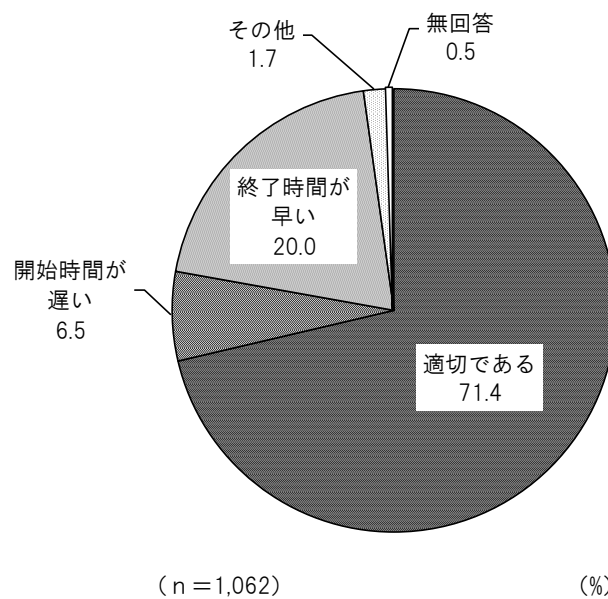
- ◆ 期日前投票の利用状況について聞いたところ、「ある」（47.0%）が5割近く、「ない」（52.5%）が5割を超えています。



### 期日前投票の時間帯

「適切である」が7割を超える

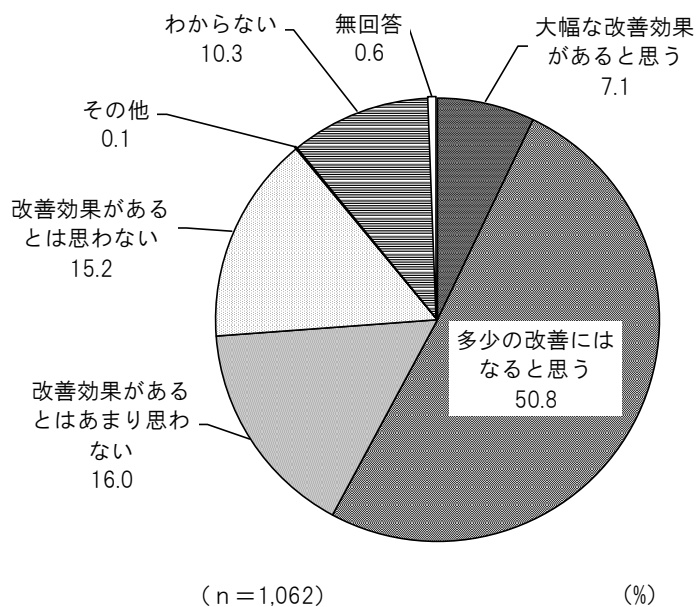
- ◆ 期日前投票の時間帯について聞いたところ「適切である」（71.4%）が7割を超えて最も高く、次いで「終了時間が早い」（20.0%）、「開始時間が遅い」（6.5%）などの順になっています。



## 期日前投票の時間帯延長における効果

「多少の改善にはなると思う」人が5割を超える

- ◆ 期日前投票の時間帯延長について聞いたところ、「多少の改善にはなると思う」（50.8%）が5割を超えて最も高く、次いで「改善効果があるとは思わない」（16.0%）、「改善効果があるとは思わない」（15.2%）、「大幅な改善効果があると思う」（7.1%）などの順になっています。

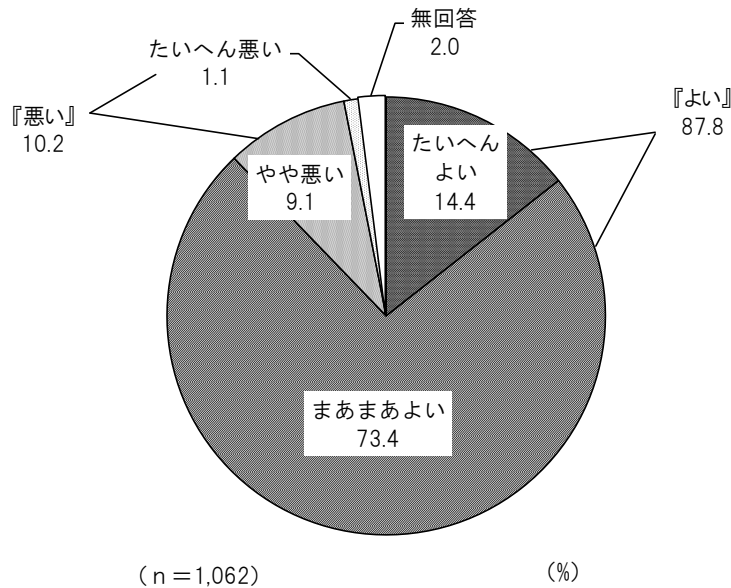


## 14. その他の区政について

### 区の職員の対応への印象

区の職員の対応は『よい』が9割近く

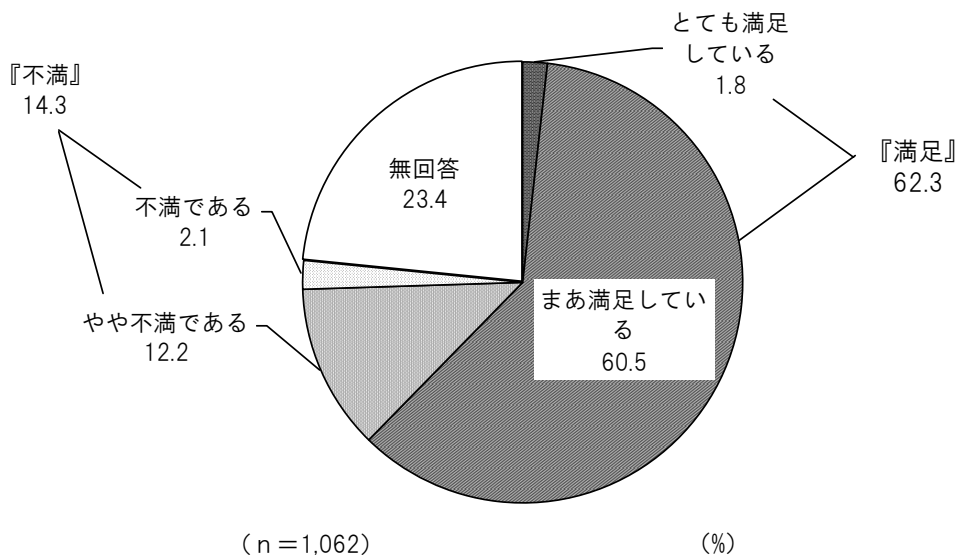
- ◆ 区の職員の対応への印象について聞いたところ、「まあまあよい」（73.4%）が7割を超えて高く、これに「たいへんよい」（14.4%）を合わせた『よい』（87.8%）は9割近くとなっている。一方、「やや悪い」（9.1%）と「たいへん悪い」（1.1%）を合わせた『悪い』（10.2%）は約1割となっています。



### 区の事業やサービスの満足度

『満足』が6割を超える

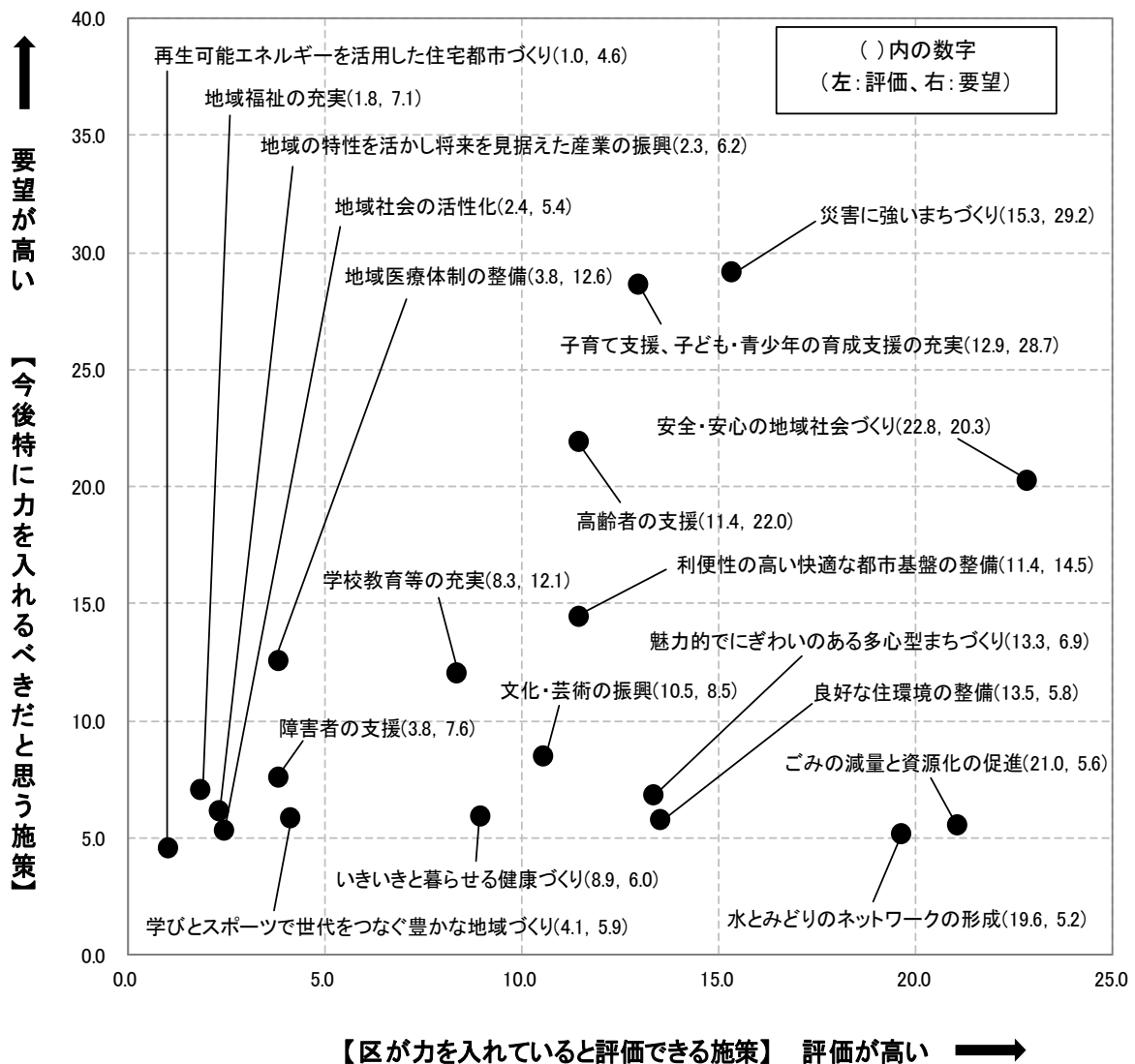
- ◆ 杉並区の事業やサービスの満足度を聞いたところ、「まあ満足している」（60.5%）が6割を超え、これに「とても満足している」（1.8%）を合わせた『満足』（62.3%）は6割を超えている。一方、「やや不満である」（12.2%）と「不満である」（2.1%）を合わせた『不満』（14.3%）は1割半ばとなっています。



## 杉並区の施策の評価と要望

施策の評価では「安全・安心の地域社会づくり」が2割を超える  
 施策の要望では「災害に強いまちづくり」が3割近く

- ◆ 杉並区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「安全・安心の地域社会づくり」(22.8%)が2割を超えて最も高く、次いで「ごみの減量と資源化の促進」(21.0%)、「水とみどりのネットワークの形成」(19.6%)、「災害に強いまちづくり」(15.3%)、「良好な住環境の整備」(13.5%)などの順となっています。
- ◆ 杉並区が今後特に力を入れるべきだと思う施策を聞いたところ、「災害に強いまちづくり」(29.2%)が3割近くと最も高く、次いで「子育て支援、子ども・青少年の育成支援の充実」(28.7%)、「高齢者の支援」(22.0%)、「安全・安心の地域社会づくり」(20.3%)、「利便性の高い快適な都市基盤の整備」(14.5%)などの順となっています。
- ◆ 力を入れていると評価できる施策（施策の評価）と今後特に力を入れるべきだと思う施策（施策の要望）を相関させた散布図は以下のとおりです。横軸が施策の評価で、縦軸が施策の要望です。このグラフでは、**施策の評価が低く、施策の要望が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられます。**



---

第48回 杉並区区民意向調査  
区政に関する意識と実態  
(要約版)

登録印刷物番号
---------

28-0066
---------

平成28年10月発行



杉並区

発行 杉並区 総務部 区政相談課

東京都杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111 (代)

実施 株式会社サーベイリサーチセンター

東京都荒川区西日暮里2-40-10

電話：03-3802-6724

・本紙の本文は、再生紙を使用しています。

---